

2024 年度 川崎医学会総会議事録

2024 年 7 月 27 日

日時：2024 年 7 月 27 日 12:15～12:50
場所：現代医学教育博物館 2 階大講堂

されていないこと、また、機器老朽化に伴い維持修理費が高額となっていることから、2024 年度に撤去することが審議・承認された。

1. 会長挨拶(砂田会長)

2. 審議事項

1) 2023 年度決算について(塩谷運営委員長)

2023 年度決算について報告され、主として以下の事項について審議・承認された。医学会誌の完全 Web 化が完了し、医学会誌制作費は減少した。講演会はコロナ禍以来、開催回数減少が続いており、講演会費は減少した。研究ニュースの Web 発刊化により研究支援費は減少した。一般教養篇を査読システムに組み込む為に必要な経費が当初の予定を上回った為、査読システム開発・維持費は増加したが、基幹システムは完成した。

2) 2023 年度監査報告(松本監事)

2024 年 4 月 23 日に会計監査が行われ、適正と判断されたことが報告・承認された。

3) 2024 年度予算(案)について(塩谷運営委員長)

概ね例年通りの予算案を組むことが提案され、以下の事項について審議・承認された。医学会誌制作費及び Web 管理費は前年度の状況を鑑みて必要な予算を計上した。研究ニュースの Web 発刊化により研究支援費は減少することが想定されるが、例年通り 50 万円を計上した。サイネージは撤去する方向で調整しており(後述項 4 参照)、撤去費として 30 万円を計上した。査読システム開発・維持費は基本維持費が約 15 万円であるが、種々の改良を行う見通しである為、50 万円を計上した。川崎学園創立 50 周年記念事業への積立金として 150 万円を計上した。

4) サイネージの運用について(塩谷運営委員長)

サイネージの利用に関するアンケートの結果が報告され、掲示場所が限られており、有効に利用

5) 余剰金の使い道について(塩谷運営委員長)

医学会の余剰金が増加しており、これを若手(臨床助教、大学院生)の研究支援に使用することについて審議された。支援額の上限を毎年 300 万円とし、川崎医学会誌(英文誌)への投稿における英文校正料の助成(上限 3 万円)、大学院生の出張旅費の助成(上限 10 万円、国際学会での発表を優先)などの案が審議・承認された。

6) 50 周年記念事業について(長洲委員)

記念事業の詳細について以下のように審議・承認された。特別講演会については、京都大学大学院理学研究科の森 和俊教授を迎え、令和 7 年 9 月 6 日(土)に校舎棟 M702 を主会場として開催し、医大 1, 2 年生を講義の一環として参加させる。また、例年 7 月末に開催している川崎医学会総会、及び、川崎医科大学学術集会も同日に開催する。予算は上限を 1000 万円とし、寄贈品の使途として、若手(臨床助教、大学院生)への研究支援を検討する。

7) 講演会細則の変更について(長洲委員)

開催申し込み方法、テレビ会議システム利用における時間制限(18:00 まで)、講演会後の会員限定のビデオ視聴、演者招聘にかかる費用の分担、演者の宿泊における朝食代金の追加についての変更が審議・承認された。

8) 川崎医学会賞について(塩谷編集委員長)

【研究奨励賞】 大学・研究委員会より

岩本 侑一郎 先生

Dipeptidyl peptidase-4 inhibitor and sodium-glucose cotransporter 2 inhibitor additively ameliorate hepatic steatosis through different mechanisms of action in high-fat diet-fed mice.

【医学会誌論文賞】 医学会・編集委員会より

(1) 山田祥子 先生

機械学習を用いた熱傷患者の入院死亡予測に関する検討

川崎医学会誌49: 7-18, 2023

doi: 10.11482/KMJ-J202349007

(2) 梅野怜奈 先生

The deficient of eNOS-NO pathway exacerbates kidney dysfunction via inflammasome activation in diabetic kidney disease.

Kawasaki Medical Journal 49: 47-55, 2023

doi: 10.11482/KMJ-E202349047

総会後に行う記念講演については、研究奨励賞受賞者のみとして次年度から再開することが審議・承認された。

9) 会則の変更について(塩谷運営委員長)

正会員について、現行の「川崎医科大学, 本学(川崎医科大学)の附属病院に所属する, 教員, レジデント及び研修医」を「川崎医科大学, 本学(川崎医科大学)の附属病院に所属する, 教員, 及び医師」に変更することが審議・承認された。

3. 報告事項

1) 人事について(塩谷運営委員長)

以下の人事が報告された。

評議員【就任】 庵谷千恵子先生、畝大先生、栄徳隆裕先生、徳富智明先生、永坂岳司先生、永瀬聡先生、三浦真澄先生

評議員【退任】 秋定健先生、阿部信寛先生、神崎晋先生、曾根照喜先生、高尾俊弘先生、羽井佐実先生、春間賢先生、伏谷建造先生、松三昌樹先生、三好康之先生、守田吉孝先生

編集委員【退任】 長谷川健二郎先生

2) 2023 年度編集委員会報告(塩谷編集委員長)

(1) 2023 年度秋季編集委員会

日時: 2023 年 11 月 7 日 (火) 18:00~

場所: 医大: 別館 6 階大会議室

総合医療センター: 5 階会議室 2

川崎医学会誌一般教養篇の投稿規定変更、投稿状況、AE への依頼状況、査読システムの進捗状況について議論されたことが報告された。

(2) 2023 年度春季編集委員会

日時: 2024 年 3 月 18 日 (月) 18:00~

場所: 別館 6 階大会議室

医学会誌論文賞、一般教養篇投稿規程、査読システムに関するアンケート、49 巻 AE・査読者一覧、投稿状況、AE への依頼状況について議論されたことが報告された。

また、投稿規程について、一般教養篇の日本語論文は川崎医学会誌一般教養篇へ、英語論文は Kawasaki Medical Journal への投稿とすること、更に、一般教養篇の論文スタイルは和文誌と同じ規定とするように変更することが報告された。

3) 査読システム運用について(塩谷編集委員長)

2023 年 6 月 1 日より運用が開始されたオンライン査読システムについて、投稿者、査読者からのアンケートの集計結果が報告され、概ね問題なく運用されているが、PDF ダウンロード時の不具合等の問題が残っており、今後も改良を加えていくことが報告された。

4) 刊行状況(塩谷編集委員長)

過去 3 年 (2021, 2022, 2023 年) の刊行状況について以下のように報告された。川崎医学会誌 (和文誌): 20, 11, 7 本、Kawasaki Medical Journal (英文誌): 25, 21, 11 本、一般教養篇: 6, 3, 8 本。2024 年度は現在のところ、川崎医学会誌に 8 本、Kawasaki Medical Journal に 6 本、一般教養篇に 3 本の論文が査読中を含めて投稿されており、投稿数が減少している。若手 (臨床助教、大学院生) からの活発な投稿を期待する。

5) 川崎医学会講演会(長洲委員)

(1) 2023 年度実施状況

計 15 回の講演会（学外講演者 9 回、学内講演者 6 回【全て新任教授講演会】）が行われたことが報告された。

(2) 2024 年度実施・実施予定・新任教授講演会

2024 年度は現時点で 7 回、今後の開催予定が 1 回であること、また、新任教授講演会は計 8 回が開催予定であることが報告された。

4. 川崎医学会賞 授賞式(砂田会長)

先述の受賞者 3 名（梅野怜奈先生は不参加の為、後日）の授賞式が行われた。

文責：庶務 橋本